



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月9日

上場会社名 内外テック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3374 URL http://www.naigaitec.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩井田 克郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐々木 政彦 TEL 03-5433-1123  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	20,629	38.9	905	95.0	894	98.8	571	63.3
29年3月期第3四半期	14,852	4.0	464	64.4	449	70.5	350	73.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 636百万円 (69.0%) 29年3月期第3四半期 376百万円 (89.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	216.53	—
29年3月期第3四半期	143.98	—

※平成28年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	17,662	5,059	28.6
29年3月期	13,149	2,732	20.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 5,059百万円 29年3月期 2,732百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,730	23.0	1,143	30.7	1,130	33.0	763	21.7	281.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、[添付資料] 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	2,929,000株	29年3月期	2,536,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	2,024株	29年3月期	104,724株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	2,639,722株	29年3月期3Q	2,431,547株

(注)平成28年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間につきましては、引き続き、国内経済、世界経済ともに総じて緩やかな成長が続きました。一方で、世界的には、米国の経済政策運営、新興国等の経済動向や地政学的リスクなどの不安定要因も依然として残りました。

当社グループの業績に大きな影響を与える半導体・半導体製造装置市場では、データセンターの処理量の増大やストレージのSSD化に伴ってメモリ需要は一層増大し、特にDRAMや3D NAND型フラッシュメモリへの設備投資が高水準で推移しました。また、ロジック半導体への設備投資も引き続き活発に行われたことにより、半導体製造装置市場は好調に推移しました。

また、FPD(フラットパネルディスプレイ)製造装置市場では、中国市場でのテレビ用の大型液晶パネル向けの設備投資が活発に継続しました。韓国市場においてもモバイル機器用の中小型有機EL・液晶パネル向け設備投資が継続したことなどにより、FPD製造装置市場は好調に推移しました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、主要取引先である半導体・FPD製造装置メーカーからの受注が好調に推移したことから、売上高206億29百万円(前年同期比38.9%増)、営業利益9億5百万円(前年同期比95.0%増)、経常利益8億94百万円(前年同期比98.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億71百万円(前年同期比63.3%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①販売事業

半導体・FPD製造装置などの各種コンポーネンツ(部品)及び同装置等の販売事業におきましては、主要取引先である半導体・FPD製造装置メーカーからの受注が引き続き好調に推移したことにより、売上高189億53百万円(前年同期比38.2%増)、セグメント利益6億11百万円(前年同期比150.9%増)となりました。

#### ②受託製造事業

半導体・FPD製造装置などの組立及び保守メンテナンス等の受託製造事業におきましては、主要取引先である半導体・FPD製造装置メーカーからの受注が引き続き好調に推移したことにより、売上高32億3百万円(前年同期比68.5%増)となりましたが、人員確保・教育などの新規受託・増産態勢整備のための先行投資が発生したことなどにより、セグメント利益2億85百万円(前年同期比40.5%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ45億13百万円増加し、176億62百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が28億66百万円、受取手形及び売掛金が4億6百万円、電子記録債権が4億83百万円、商品及び製品が1億64百万円増加等、流動資産が39億86百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ21億85百万円増加し、126億2百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が2億76百万円、電子記録債務が20億64百万円増加し、社債及び長期借入金(1年内を含む)が4億38百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ23億27百万円増加し、50億59百万円となりました。この主な要因は、資本金が6億89百万円、資本剰余金が10億21百万円、利益剰余金が5億22百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の20.8%から28.6%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)連結業績予想につきましては、平成29年8月10日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」と変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,100,150	6,966,444
受取手形及び売掛金	5,016,223	5,423,117
電子記録債権	584,777	1,067,916
商品及び製品	660,447	825,037
仕掛品	76,080	99,826
原材料及び貯蔵品	48,277	87,162
繰延税金資産	67,762	47,284
その他	31,411	52,234
貸倒引当金	△3,014	—
流動資産合計	10,582,116	14,569,022
固定資産		
有形固定資産		
土地	878,612	849,185
その他(純額)	620,452	1,016,984
有形固定資産合計	1,499,064	1,866,170
無形固定資産	100,321	139,581
投資その他の資産	967,567	1,087,507
固定資産合計	2,566,953	3,093,259
資産合計	13,149,070	17,662,282
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,869,846	3,146,214
電子記録債務	3,242,111	5,306,916
1年内返済予定の長期借入金	654,300	557,220
未払法人税等	240,715	200,316
賞与引当金	96,300	58,000
その他	486,719	773,185
流動負債合計	7,589,993	10,041,853
固定負債		
社債	336,000	259,000
長期借入金	1,684,031	1,420,035
繰延税金負債	24,644	53,127
退職給付に係る負債	595,095	616,676
長期未払金	66,850	66,850
資産除去債務	14,101	14,406
その他	106,288	130,728
固定負債合計	2,827,011	2,560,824
負債合計	10,417,004	12,602,677

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	389,928	1,079,619
資本剰余金	322,078	1,343,612
利益剰余金	1,925,824	2,448,770
自己株式	△29,185	△564
株主資本合計	2,608,644	4,871,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,111	179,616
為替換算調整勘定	8,309	8,550
その他の包括利益累計額合計	123,420	188,166
純資産合計	2,732,065	5,059,604
負債純資産合計	13,149,070	17,662,282

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	14,852,985	20,629,696
売上原価	13,168,503	18,237,352
売上総利益	1,684,482	2,392,343
販売費及び一般管理費	1,220,002	1,486,788
営業利益	464,479	905,555
営業外収益		
受取利息	2,589	2,516
受取配当金	5,196	6,970
受取賃貸料	6,453	2,363
仕入割引	6,279	10,867
助成金収入	120	—
その他	8,625	11,952
営業外収益合計	29,263	34,669
営業外費用		
支払利息	40,367	34,706
その他	3,393	10,977
営業外費用合計	43,761	45,683
経常利益	449,981	894,541
特別利益		
固定資産売却益	—	8,573
特別利益合計	—	8,573
特別損失		
投資有価証券評価損	—	19,171
特別損失合計	—	19,171
税金等調整前四半期純利益	449,981	883,943
法人税等	99,896	312,371
四半期純利益	350,085	571,571
親会社株主に帰属する四半期純利益	350,085	571,571

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	350,085	571,571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,272	64,504
為替換算調整勘定	△6,853	240
その他の包括利益合計	26,419	64,745
四半期包括利益	376,504	636,317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	376,504	636,317
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年9月5日を払込期日とする、公募増資による新株式334,500株の発行及び自己株式102,700株の処分を行いました。また、平成29年9月25日付でみずほ証券株式会社から第三者割当増資58,500株の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金は689,691千円、資本剰余金が1,021,534千円それぞれ増加し、自己株式が28,621千円減少しました。当第3四半期連結会計期間末において資本金は1,079,619千円、資本剰余金は1,343,612千円、自己株式は564千円となりました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売事業	受託製造事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,677,558	1,175,426	14,852,985	—	14,852,985
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,921	726,074	761,995	△761,995	—
計	13,713,480	1,901,500	15,614,981	△761,995	14,852,985
セグメント利益	243,675	202,924	446,600	17,879	464,479

(注) 1. セグメント利益の調整額17,879千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売事業	受託製造事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,880,714	1,748,981	20,629,696	—	20,629,696
セグメント間の内部売上高 又は振替高	72,947	1,454,561	1,527,509	△1,527,509	—
計	18,953,662	3,203,543	22,157,205	△1,527,509	20,629,696
セグメント利益	611,354	285,119	896,474	9,081	905,555

(注) 1. セグメント利益の調整額9,081千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。